

Java基礎II 評価試験

■テスト実施方法

- ・ 制限時間 70分(15:40~16:50) ※終了10分前にアナウンスします。
- ・ ルール 変数名などの指定されている名称が異なる場合は減点とする。
- ・ テストに対する回答は、Eclipseを使用して作成するソースファイルとする。
- ・ Javaプロジェクト「java_kiso_test」に提出するファイルを作成してください。

最終的に実行した際に出力された文字列をテキストファイル「実行結果.txt」を作成し、コピペすること

- ・ 提出ファイル

```
ExamMain.java
ExamLogic.java
実行結果.txt
```

■問題

1. 指定のプロジェクト内にパッケージ「java_kiso2.mains」と「java_kiso2.mains.logic」を作成してください。
2. 2で作成したパッケージ内にクラス「java_kiso2.mains.logic.ExamLogic」と「java_kiso2.mains.ExamMain」を作成してください。
ただし、ExamMainクラスはmainメソッドを実装すること

3. ExamLogicクラス内に以下の処理を行うメソッド「printData」を作成してください。

- ・ 戻り値 なし
- ・ メソッド名 printData
- ・ 引数リスト String型 data
- ・ 【処理内容】
仮引数dataの要素分繰り返して、標準出力に出力する。

1. ExamLogicクラス内に以下の処理を行うメソッド「printData」を作成してください。

- ・ 戻り値 なし
- ・ メソッド名 printData
- ・ 引数リスト ArrayList<String>型 data
- ・ 【処理内容】
仮引数listの要素分繰り返して、標準出力に出力する、ただし改行しない。

1. ExamMainクラスのメインメソッドを以下のように作成し、実行してください。実行結果は「実行結果.txt」にコピペしてください。

- i. String型の配列**bango**を「"1", "2", "3", "4"」で初期化する。
- ii. ArrayList型のリストlistのインスタンスを作成する。
- iii. listに「おおさ」「まのみ」「みはろ」「ばのみみ」を追加する。
- iv. ExamLogic型の変数logicにExamLogicクラスをインスタンス化し代入する。
- v. ExamLogicのインスタンス・メソッドprintDataの引数にbangoを引数に渡す。
- vi. ExamLogicのインスタンス・メソッドprintDataの引数にlistを引数に渡す。
- vii. 現在の日時を次のフォーマットで表示「yyyy/MM/dd hh:mm:ss」

2. ExamLogicクラス内に以下の処理を行うメソッド「oneThrowTwoTrueThreeFalse」を作成してください。

- ・ 戻り値 boolean
- ・ メソッド名 oneThrowTwoTrueThreeFalse
- ・ 引数リスト String型配列 data, ArrayList list

- 【処理内容】

1. dataの要素数分繰り返すfor文を作成する。
2. もし、配列の値が"1"の場合、次の繰り返し処理を行う。
3. もし、配列の値が"2"の場合、listの2番目の値を標準出力に出力。
4. もし、配列の値が"3"の場合、listの3番目の値を標準出力に出力。
5. もし、配列の値が"4"の場合、例外のメッセージに「想定外のエラーが起きました」を表示する例外を投げる
6. trueを返却する
 - vii. ExamMainクラスのメインメソッドに、次の処理を追加してください。
7. ExamLogicクラスのメソッド「oneThrowTwoTrueThreeFalse」を呼び出す。
8. 「oneThrowTwoTrueThreeFalse」の処理で例外が投げられたときは、標準出力に「想定外のエラーが起きました」と出力
 - ※ただし、「想定外のエラーが起きました」のみを表示する事(ArrayIndexOutOfBoundsExceptionなどのメッセージは表示させない)